

(地独)東京都立産業技術研究センターの概要

産業労働局

令和元年12月18日

組織概要

<沿革>

平成18年

東京都立産業技術研究所と城東地域中小企業振興センター、城南地域中小企業振興センター、多摩中小企業振興センターの技術支援部門を統合するとともに、地方独立行政法人へ移行し、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとなる



<事業内容>

東京都内の中小企業に対する技術支援（研究開発、依頼試験、技術相談、人材育成など）により、東京の産業振興を図り、都民生活の向上に貢献すること

<所在地>

【本部】 東京都江東区青海 2-4-10

【城東支所】 東京都葛飾区青戸 7-2-5

【墨田支所・生活技術開発セクター】

東京都墨田区横網 1-6-1 KFCビル12階

【城南支所】 東京都大田区南蒲田 1-20-20

【多摩テクノプラザ】 東京都昭島市東町 3-6-1

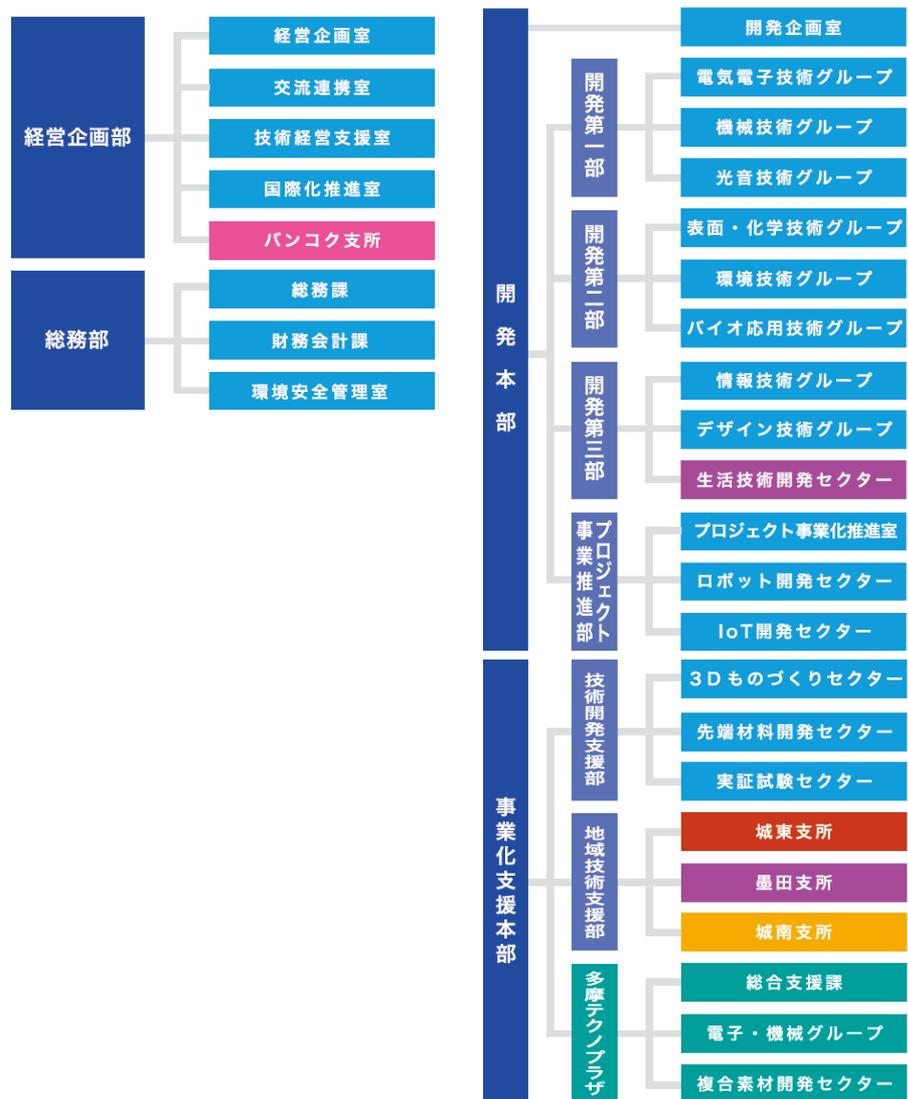
【バンコク支所（タイ王国）】

MIDI Building, 86/6, Soi Treemit, Rama IV Road, Klongtoei, Bangkok 10110.

組織図

<職員数> (30年度末)

職員数：350名



主な業務内容

1) 研究開発

- ・機械、電気・電子、情報、化学、バイオ等の基盤技術分野に幅広く対応
- ・現在は、成長が期待される「環境・エネルギー」、「機能性材料」「生活技術・ヘルスケア」、「安全、安心」を重点分野として設定
- ・バイオ技術等を活用した化粧品・食品に関する研究開発事業を今年度から開始（令和元年度は研究のための機器整備等）

○基盤研究、共同研究

○プロジェクト事業

共同研究などにより中小企業による特定産業への参入を支援

- ・ロボット産業活性化事業
- ・中小企業のIoT化支援事業
- ・バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業
- ・プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクト

○生活関連産業支援

人間工学、感性工学、情報技術、デザイン技術を活用した製品開発手法を普及

2) 技術支援

○技術的課題の解決のための支援

[技術相談]、[依頼試験]

○製品開発、品質評価のための支援

[機器利用]

[高付加価値開発支援]

各セクターによる総合的な支援や、オーダーメイドによる開発の支援、製品開発支援ラボの運営等を実施

- ・3Dモノづくりセクター
- ・先端材料開発セクター
- ・複合素材開発セクター
- ・オーダーメイド開発支援
- ・製品開発支援ラボ

[品質評価支援]（実証試験セクター）

安全で信頼性の高い製品開発を支援するため、ワンストップでの技術支援

3) 技術経営支援

○知的財産権の取得

知的財産権の使用許諾を推進し、中小企業などの技術開発や製品開発を支援

主な業務内容

4) 海外展開

○国際規格対応支援

1都10県1市が連携し、広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)から海外展開支援サービスを提供

- ・海外規格に精通した専門相談員による相談等
- ・海外規格準拠の評価試験や一部海外で通用する試験証明書の発行

○海外支援拠点(バンコク支所)

ASEANに展開する日系中小企業へ技術相談や技術セミナー、産業人材育成等

5) 多様な主体による連携

○産学公金連携による支援

- ・連携を促進するセミナーや展示会、ビジネスマッチング交流会を開催
- ・異業種交流会や業界別交流会をそれぞれ実施

○行政等支援機関連携

大学研究機関や行政機関等と協定、覚書などを締結し、産業振興及び中小企業振興のための事業連携を図っている。

○中小企業振興公社との連携

平成18年に協定を締結し事業を協力して実施

- ・連携を活用してセミナーや実地技術支援を実施
- ・一つの企業に対して、それぞれの支援メニューを組み合わせる支援を実施

6) 産業人材の育成

○技術セミナー・講習会等

各種技術セミナーや講習会の開催、依頼に応じたオーダーメイドセミナー等を実施

7) 情報発信・情報提供